

# 食品・保養・医療分野の連携による健康アイランドの構築を目指して

OKINAWA型産業振興プロジェクト中長期ビジョン～産業クラスター成長戦略～

沖縄総合事務局経済産業部では、今年3月に『OKINAWA型産業振興プロジェクト中長期ビジョン』を策定し、2006年度からの5年間にわたる成長戦略を作りました。

そこで、その成長戦略を5回にわたり連載し、第1回の全体計画、第2回の健康産業成長戦略、第3回の情報産業成長戦略、第4回の加工交易型産業成長戦略、第5回で環境関連産業成長戦略を紹介します。

本稿は、第2回目にあたる健康関連産業分野の成長戦略について紹介します。

## 1. 健康関連産業分野における成長戦略策定の背景

OKINAWA型産業振興プロジェクトの二期目（2002年度～2005年度）における健康関連産業分野での取り組みは、主に地場資源活用により商品の移出促進に期待の高い健康食品等のネットワークの形成に力を入れ、技術力、販売力等の経営戦略支援による競争力の強化を図ってきました。しかし、国民の健康への関心の高まりと併せて健康食品産業の競合化、サービス産業の台頭により県内健康食品分野が厳しい競争にさらされるようになっていることから、沖縄のもてる強みや国内「コザ」の動向等を勘案し、食品、保養、医療分野の連携強化が必要との認識に至りました。このため、中長期計画では食品（健康食品、化粧品等）、保養（エッセンス、フィットネス等）、医療機関等と連携し、新事業創出、競争力強化等への取り組みを図っていくこととしております。その具体的な取り組みやそのための組織体制、支援体制等について紹介します。

## 2. 食品、保養、医療分野における取組

### (1) 食品産業分野の取組

高度化・地域ブランドの確立による競争力強化  
今後の取組  
上記目標を達成するには、食品の

機能性等のエッセンスの確立、産学または産産連携等による商品開発、原料の地域内産出等による品質確保及び地域ブランド化などが必要となります。更にマーケティング力の強化を図り総合的な競争力強化を図ることが必要です。このため、沖縄特有の野菜、薬草、海洋資源など地域素材の機能性の把握、利活用を進める、沖縄県健康産業協議会「沖縄県健康食品事業協同組合」等との連携を強化するための場を設け、EBHの確立、品質確保、販促強化等の課題解決に取り組むとともに商品開発力の強化を図ります。加えて、会員企業と大学のシーズとのマッチングの促進や県外・海外等との広域連携を進めます。また、沖縄県をはじめ関連する行政機関との連携を深め、共通認識のもとに実施する施策展開を通して、関係者が堂に会する意見交換会を開催します。

### (2) 保養産業分野の取組

目標

ウェルネスリゾート産業の形成（観光客、長期滞在者、移住者の増加）  
今後の取組

上記目標を達成するには、多様なサービスの創出と販路開拓、品質・サービスの確保が必要となります。このため、市場ニーズに則した商品開発に向けた情報提供、経営戦略支援、コマーシャル等の活用、旅行エージェント等とタイアップした健康志向消費者向けの商品開発やPRの実施、更にはエッセンスなどの商品開発やブランド構築に向けた取組も行います。また、エッセンスやフィットネス等の保養の分野における人材の育成をはじめEBH確

立支援のための環境の整備に取り組むとともに観光と健康の融合によりブランド力のあるウェルネスリゾートを形成します。

### (3) 医療産業分野の取組

目標

健康長寿を実現する医療・介護拠点の構築  
今後の取組

医療産業分野は、食品、保養分野のサポート・バックアップとしての役割が期待されています。このためには、疾病に対する予防や治療等の食事療法、観光サービス等の商品開発や、食品、保養分野間の連携強化、医療拠点の構築が必要で、併せて統合医療の拠点、高度医療地域の形成等を図ることが求められます。このため、医療関係者、関連企業、団体、研究者等との意見交換を通して、連携強化を図るとともに医療側の観点を取り入れた食品やサービス等の商品開発に向けた取組を行います。また、統合医療については、県外、海外の動向等に関する情報収集等により関係機関における共通認識化を図っていきます。

### (4) 食品、保養、医療各産業分野に共通した取組

目標

沖縄健康産業クラスターの形成、県民及び来県者の健康増進、県産の商品サービスの競争力強化  
今後の取組

新しいビジネスを生み出す良質なシーズを供給する源泉として、「健康食等の研究や情報の拠点となる食品グループの核」「健康学の研究や情報

## 健康関連産業分野食品・保養・医療が一体となった健康アイランドの実現

	目標 3,400億円	現状と課題 2,300億円	取り組むべき事業
食品産業	高度化・地域ブランドの確立 による競争力強化 (市場の開拓)	経営資源(人材・資金・技術)不足 販路開拓能力の不足 安全性・品質についての不安 効用についての説明不足 原材料の入手難	機能性食品等新製品開発支援 本土市場、海外市場開拓支援 科学的、実験的エビデンスの確立支援 特定保健用食品制度の活用支援 県内農業、アジア諸国との連携支援
保養産業	ウェルネス・リゾート産業の形成 (観光客、長期滞在者、移住者の増加)	観光客の使用金額の伸び悩み 魅力ある商品・サービスの不足 沖縄の特徴、優位性の説明不足 長期滞在希望者の開拓不足 受入れ施設の不足	観光客の滞在日数、活動増加をもたらす多様なプログラム創出支援(文化産業等と連携) 連携による新商品・サービス開発支援 来沖により元気になる、長生きする、というエビデンスの確立支援(琉大等との連携) 本土の高齢者等へのPR(リタイアメント) - 多様な来沖者の受入れ施設の整備促進
医療産業	健康長寿を実現する 医療・介護拠点の構築	高度医療施設の不足 バイオ・医療関連技術の不足 生活習慣病の増加 新しい医療哲学への対応不足 限界に近づく医療保険制度	高度医療技術者、病院の誘致 研究者、研究開発企業の誘致 診断、予防技術の提供を拡大 統合医療の中核的拠点としての育成支援 構造改革特別地区の検討

の拠点となる保養グループの核「予防・治療等の研究や情報の核となる医療グループの核」作りを進めることが必要です。このため、琉球大学や名桜大学等との連携強化を図ることに  
より食品、保養、医療それぞれの分野における求心力を持つ核組織を形成し、大学等研究機関及び既存の団体との連携強化やキーパーソンの発掘などを行います。

なお、今年度は保養分野における核組織作りのために次の取組を実施しています。

### 【広域的新事業支援ネットワーク拠点重点強化事業】

本事業はOKINAWA型産業振興プロジェクトの一層の推進を図るため、中核的役割を担う事業者推進組織「OKINAWA型産業振興プロジェクト推進ネットワーク」と連携した取組を行うものに対する支援を行うもので、健康関連分野における同事業は次の通りです。

#### 《事業名》

健康産業EBH確立支援のためのネットワーク形成事業

#### 《実施者》

学校法人名護総合学園名桜大学  
《事業の概要》

県内健康産業サービス産業会における産業の育成及び市場での競争力獲得に向けたブランド形成のためには、EBHの確立と質の管理・保証が必要であり、このため、大学、研究機関、企業などの幅広いネットワークの構築を実施します。

具体的には、様々な健康産業にお

けるEBHの確立支援体制の構築を目的に、EBH検証専門部会、運営専門部会、市場調査専門部会などを設置し、それぞれの部会において各種情報の収集・整理、EBHニーズの調査、EBH検証手法整理、ネットワーク体制の検討などを進め、EBH確立支援ネットワークの形成を図ります。また、並行して、供給側ネットワーク及び市場調査ネットワークの構築についても検討を実施します。

### 3. 戦略推進のための体制の整備

OKINAWA型産業振興プロジェクトを推進し、中長期ビジョンで掲げた目標を達成するためには、企業サイドにおける自立的な取組強化を図っていくことが必要です。このため、今回、OKINAWA型産業振興プロジェクト推進ネットワーク(民間推進組織事務局(財)南西地域産業活性化センター)において民間側が主体的に活動する場作りを行いました。即ち、食品分野から下地清吉氏(沖縄県健康産業協議会会長)を、保養分野から山川杉乃氏(ザ・ナムテラスエスチームチーフリーダー)を、医療分野から潮平芳樹氏(医療法人友愛会豊見城中央病院副院長)を代表とする戦略推進のための、健康関連産業部会幹事会を設置しました。併せて経済産業部における支援体制強化のための組織化を図り、この両輪体制の構築により沖縄における健康産業クラスターの形成(自立化)に向けた取組を行っていきます。

### 4. イベント開催情報 「平成18年度第一回 OKINAWA型産業振興 プロジェクト講演会」

去る6月22日に北海道大学遺伝子病制御研究所の西村孝司教授をお招きし、「健康を考える観光の基盤整備と地域産業の活性化」と題し講演会を開催しました。西村教授はスギ花粉症に悩む人々向けの滞在型ツアーの提唱者です。今回の講演会で都市型環境による人々の免疫力の低下が進んでいることから、ストレスフリーの最適地である観光地やスギ花粉がなく環境のよい北海道や沖縄が治療等の候補地として最適であると提言しました。このことから、当該地域と沖縄の連携により健康への関心の高い消費者の誘客等の推進が期待されております。

